



やまぼうし



社会福祉法人 市島福祉会

認定子ども園 いちじまこども園

〒669-4321

兵庫県丹波市市島町上垣138-1

(☎) 0795-85-2330

(fax) 0795-85-2335

<http://www.ichijima-kodomoen.com>

こども園HP



< 教育・保育理念 >

受容・信頼・貢献感

いきよう

ちからいっぱい

じぶんらしく

まっすぐに

生きよう力いっぱい自分らしくまっすぐに！

園長 荻野尚子

水田に清流がそそぎこまれ、水面に空が映つてあたりが明るくなってきました。

本園も地域の皆様の見守りの中で新年度を迎えることができ、心より御礼申し上げます。

新入園の子どもたちは、家庭から離れて緊張や不安がいつぱいで、どんなにエネルギーを使っていることかと思ひます。子どもたちが少しでも早く安心して園で生活でき、楽しく過ごすことができるよういろいろと工夫していきたいと考えています。どの子どもたちも「おもしろいな」「もつとやりたい」「次はどうしようかな」と、自分たちで考え、試行錯誤して達成感を味わえる活動がたくさんできるよう計画しています。

昨今、世の発展は目覚ましく変化の激しい時代となりました。これから、どのような社会になっていくでしょうか。ますます便利になると同時に、いろんな職業もAIによって変わっていくと考えられています。また宇宙規模の発見や世界の政情も気になるところです。

子どもたちには、そんな未知なる将来において、たとえどんな困難が立ちかはかろうとも、自分を信じて逞しく生き、周りの人たちとともに幸せな人生を送ってほしいと願います。

そのため、まずは、自分自身をだいにしてほしいと思います。自分のことが好きで自分を大切にできる人であれば、周りの人も大切にできるはず。そして、幼児期こそ、その土台ができる時。子どもたちが、「自分は愛されている」と感じられる環境の中で、「生きる力」の基礎を保護者とともにしっかりと育んでいきたいと思ひます。

地域の皆様には、園に對しまして益々のご指導とご鞭撻を何とぞよろしくお願い致します。

子どもたちが未来に向かって意気揚々と伸びていきますよう！

“生きる力の基礎”となる育てたい三つの力

「人と関わる力」「生活する力」「学ぶ力」

◎あいさつ ◎かたづけ ◎おもしろい、もつとやりたい



市島福祉会 理事・監事

理事長 西安五月

理事 西山一雄

吉竹弘成

吉見和好

永井豊

田中満穂

荻野尚子

監事 余田多喜夫

荻野義弘

保護者会役員

会長 宮川五十雄

副会長 浅倉友香里

副会長 長澤 悠

会計 荒木愛美

会計 井上美菜



倉橋惣三の言葉

見よ、子どもらの生活が咲いている。満開している。かれら自らに、どんなに快いことであろう。その、子どもらの幸福を、子ども自らの心に和して祝う心、それがわれらのまごころである。

倉橋惣三(1882-1965)

「日本のフレイベル」あるいは「日本の幼児教育の父」と呼ばれる幼児教育学者。倉橋が展開した子ども心に徹底的に寄り添い、子どもの遊びや自発性を重視した幼児教育論は、まさしく現代に通じるもの。誘導保育論が特に有名である。

子育て ほんと・は〜と

毎週火・木・土の午前中(9:00~11:00)は、在宅児のために、いちじまこども園の園庭を開放しています。ぜひあそびに来てくださいね！



令和元年5月23日(木) 9:30より
「はじまりの会」 いちじまこども園ランチルームにて

お問い合わせはいちじまこども園までどうぞ。